つり環境ビジョンコンセプトに基づく

LOVE BLUE 事業報告書 2021年度

～全国に広がる感謝の輪～

LOVE BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

JAFTMA JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION 一般社団法人 日本釣用品工業会

JSF 公益財団法人 日本釣振興会 Japan Sportfishing Foundation

つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE 事業
～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を３つの優先事項とし活動してまいります。

LOVE BLUE 事業報告書 2021 年度
～全国に広がる感謝の輪～

目次

Ⅰ　（一社）日本釣用品工業会　2021 年度事業報告

Ⅱ　（公財）日本釣振興会　2021 年度事業報告書

Ⅲ　参加企業

Ⅳ　2021 年度事業収支報告書

巻末　松下和夫　京都大学名誉教授

I

（一社）日本釣用品工業会　2021 年度事業報告

・LOVE BLUE TOPICS
・水中クリーンアップ活動
・地球環境基金企業協働プロジェクト
　LOVE BLUE 助成
・専門機関と連携した放流事業
・水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）
・これまでの国・自治体等からの感謝の声
・これまでの水中クリーンアップ感謝の声
・これまでの水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）採択団体

LOVE BLUE TOPICS

※役職は当時のものです。

LOVE BLUE 北海道 広尾町 村瀬 優 町長から感謝状
～重要港湾十勝港の水中クリーンアップ活動へ～

2021年12月14日　広尾町応接室

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業として、北海道では初となる感謝状が、広尾町 村瀬 優 町長から（一社）日本釣用品工業会へ授与された。この日、同会LOVE BLUE委員会小島忠雄 委員長が村瀬優町長へ表敬訪問を行い、同町が管理する重要港湾十勝港での水中クリーンアップ活動実施へ要望を頂いたことや感謝状授与へ御礼を行った。（2014年から2020年まで7年間累計33日実施）

（左から：村瀬優 広尾町長、（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE委員長）

十勝晴れとなったこの日、広尾町本庁舎では広尾町港湾課をはじめとした関係者が、小島忠雄委員長らの到着を歓迎した。村瀬町長はまず、「わざわざ小島顧問にお運びいただきましてありがとうございます。」と御礼の言葉があり、町長応接室で感謝状授与式が執り行われた。「感謝状：一般社団法人日本釣用品工業会様　貴殿は十勝港の水中清掃活動を率先して行い、十勝港水域の美化に寄与されました。よってここに深く感謝の意を表します。令和三年十二月十四日　広尾町町長　村瀬優」と町長より読み上げられ、メディア各社の写真撮影の後、冒頭、記者会見となった。

まず、記者からの質問は小島忠雄委員長に向けられた。以下、記者会見内容。

「小島委員長からLOVE BLUE事業に対する思いを聞かせてください。」との質問に、小島委員長は「今、時代の大きな潮流は社会貢献となっている。釣り業界は大きなことはできないが、地道に自分たちが恩恵に預かる自然環境へ恩返しをしたい。そして将来へ豊かな自然環境を繋げて行きたい。それがLOVE BLUE事業の発端です。願わくは時代の先端となるべく社会貢献を行いたいというのが趣旨です。」と答えた。

続いて「LOVE BLUE水中クリーンアップ活動は全国で行われていますが、北海道十勝港で実施した理由と、実施場所は、釣り人が多い場所という点で決めたのか、釣りとは離れてきれいにするということなのか。」との質問には、「まず、LOVE BLUE事業の財源は全国の釣り人並びにメーカー等の企業からお預かりしている浄財ですから、事業実施についても全国平等に進めて参りたいというのがLOVE BLUE事業の考え方です。そのため全国を7ブロックに分けてマーケットバランスなど一定の基準を基に予算配分を行い実施している。そして、もうひとつ大切なのは、LOVE BLUE事業は何の見返りもいただかない事業ということです。ですのでむしろ胡散臭がられる。自ら費用を負担してまで取り組む社会貢献事業ということが稀有だとよく言われます。またLOVE BLUE事業は、

（一社）日本釣用品工業会
小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

水中クリーンアップ活動など、私たちの思いだけではできません。こちらの十勝港のように、ご要望、チャンスをいただいて初めて社会貢献活動をすることができるのです。ご要望をいただけるかが大切なのです。ご要望を基に全ての場所は決まっています。そこを突破口にして、皆様に喜んで頂くために、もっともっと全国公平に広げて行きたいというのが絶対に譲れない考え方です。その意味でも村瀬町長から十勝港でのご要望いただき心から感謝しております。

記者会見の最後に、小島委員長は「北海道で LOVE BLUE 事業として自治体、公職者の方から感謝状をいただくのは初めてです。非常に大きな節目を迎えることができましたこと御礼申し上げます。」と挨拶した。

この後、村瀬町長から御礼が次の通りあった。「（一社）日本釣用品工業会 顧問 LOVE BLUE 委員長の小島さんから理念をお聞きして、崇高な理念だと。やはり海で生きている、海に関連して生きている方々が、社会に還元するということ、本当に素晴らしい理念だと思います。そして、ここ十勝港で活動していただいたことに心から感謝申し上げたいと思います。特に水中クリーンアップですから、ゴミ拾いは日常色々な方々がされますが、水中で清掃頂くのは初めてで、多分色んなものがでたのではと思っていまして、本当に心から感謝申し上げます。」

これを受け、小島委員長からは「こちらこそありがとうございます。いま町長からありました通り、清掃したごみの内容は一切公表しないというのが考え方です。」と話すと、町長は、「その町のマナーが問われますからね」との話があった。

村瀬優 広尾町長

また、村瀬町長から「釣りをする方々は純粋にルールを守ってちゃんとされている方が沢山いらっしゃっている。中にはひとりふたりマナーの悪い人がいる。それが独り歩きするんですよね。釣り人は悪いという風に。でも釣りをする人たちで清掃する方々もいる。貴会のように全国的に活動されているところもある。このような活動が釣りをしている人たちなどへもっと知ってもらえれば、ゴミも散らかさなくなると思います。みんなの港で、みんなの海ですから。みんなに使ってもらって喜んでもらってというところです。」との話があり、さらに「こういう活動が色んな業界に広がっていくと良いですよね。例えば、洞爺湖で季節になると毎日花火を上げるんですが、財源は宿泊した方の宿泊料から出ている。宿泊者に感謝しつつ頂いたお金を財源として還元しているということもあります。LOVE BLUE 事業は業界の想いがまとまって、260 社の参加企業があるということが素晴らしいです。」と LOVE BLUE 事業がもたらす社会的な広がりへ期待を寄せる言葉もあった。

村瀬町長からは、最後に、「海を持つ我々の生活の糧というのは、その海が財産ですから、海で食べていく人たちは海を大事にしますので、この取り組みは素晴らしい取り組みと思いますし、ありがたいと思っています。海があるから、釣り人がいるから、業界が成り立って社会貢献するって素晴らしいですよね。釣りの業界へのイメージが変わりました。」との言葉があった。

（右から：村瀬優 広尾町長、
（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長）

これを受け、小島委員長からは「ありがとうございます。ひとつひとつ積み重ねて参ります。私たちは、やらせていただくところがないとできない取り組みですので、功を焦らずに、業界を挙げての取り組みなので、間違いの無いように、地道に取り組んで参ります。」と話すと、村瀬町長から「その『やらせていただく』というのが本当に凄いなと思います。漁師の意識も変わってくるのではと思います。本日は本当にありがとうございました。」と締め括った。

LOVE BLUE TOPICS

LOVE BLUE マナー広報

これから釣りを始めようとしている人や釣りを始めたばかりの人(エントリー層)へ。
そして、波及的に釣り人の皆さんへも伝わるように取り組んで参ります。
ハフポスト日本版と BuzzFeed Japan で記事等が掲載されますので、是非ご確認ください。

『BuzzFeed Japan〔激ムズ〕釣り好きにしかわからない用語クイズ』の記事

『ハフポスト日本版 コロナ禍で「釣りブーム」到来。その裏で“ある問題”が起きていた』の記事

LOVE BLUE 事業周知広報

2021 年度も YouTube CM はじめ、朝日新聞・読売新聞の全国版一般紙の朝刊に小型広告を環境の日・海の日・釣りフェスティバル 2022 初日・世界水の日の 4 回掲載致しました。来年度も多くの方にご理解いただけるよう、YouTube CM と朝日新聞・読売新聞などで周知広報を実施して参ります。

釣り人・一般社会向け Ver.

釣り人向け Ver.

一般社会向け Ver.

全国に広がる感謝の輪

～水中クリーンアップ活動編～

私たち釣り人は世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取組が、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

LOVE BLUE では全国を 7 ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

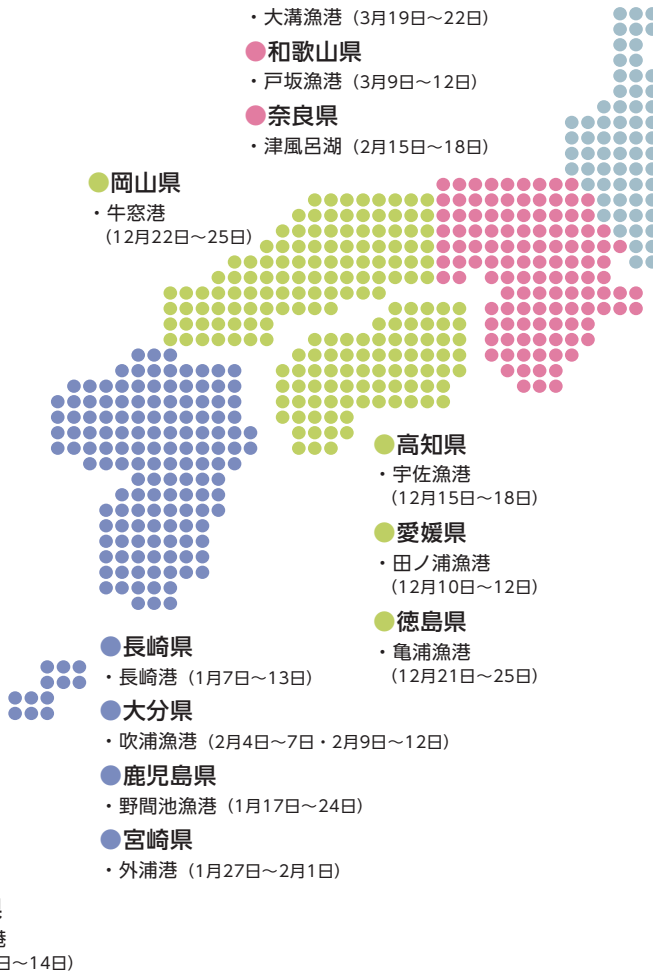
効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフとダイバーは常時無線交信設備を装備し、万全の安全管理を徹底しながら作業をしています。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請も行い、地域のご関係先への周知等丁寧に連携しながら実施し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は 2013 年度の事業開始より 2021 年度に至るまで、9 年間累計 35 道府県 290 箇所 1178 日実施しています。

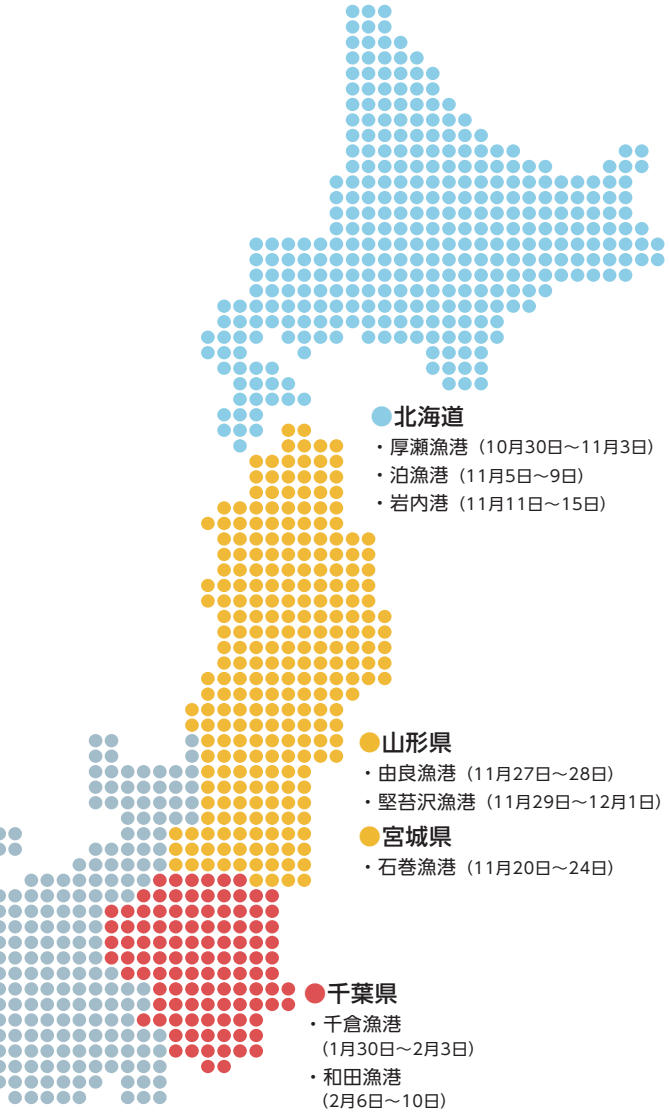
ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<中部・北陸地方：20 日>			1	3	5	22.5	6	20	5	17	5	22	4	18	4	17	4	19	4	16
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3																
		入鹿池			1	5	1	5	1	5	1	3								
	富山県	六渡寺海岸			1	4	1	3	1	3										
		黒部漁港									1	5	1	5	1	4	1	5	1	4
	石川県	名舟漁港			1	3.5	1	3												
		富来漁港			1	5	1	3	1	3										
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3	1	5	1	5						
		前波漁港					1	3	1	3										
		金沢港													1	3				
		金沢港金石地区船溜															1	5	1	3
	福井県	東尋坊・崎漁港									1	5	1	5	1	5			1	5
		梶漁港															1	4		
	岐阜県	長良川									1	4								
		東大江川											1	3	1	5	1	5	1	4

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<中国・四国地方：15 日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14	4	14	4	15	4	17	4	16
中国・四国	香川県	松山漁港			1	5														
		土庄港					1	3												
	徳島県	那佐港			1	3														
		由岐漁港					1	3	1	3										
		日和佐港									1	3								
		椿泊漁港											1	4						
		亀浦漁港（八木の鼻地区）													1	4				
		亀浦漁港															1	5	1	5
	愛媛県	佐田岬漁港			1	5	1	3	1	3										
		三机港			1	5	1	3	1	3	1	3								
		松山港（高浜地区）			1	5	1	3	1	3	1	2								
		九丁漁港											1	4	1	4				
		田之浦漁港															1	3	1	3
	鳥取県	境港							1	5										
	高知県	宇佐漁港									1	3	1	3	1	4	1	4	1	4
	岡山県	牛窓港									1	3	1	3	1	3	1	5	1	4

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<九州・沖縄地方：15 日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14	4	14	1	3	5	32
九州・沖縄	佐賀県	唐津港			1	5	1	3												
		伊万里港			1	5			1	3	1	3								
	長崎県	館浦漁港			1	5	1	3												
		薄香湾漁港					1	2												
		生月漁港							1	3	1	3								
		長崎港											1	4	1	4			1	7
	熊本県	八代港			1	5	1	3												
	沖縄県	名護漁港			1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	1	3				
		都屋漁港															1	3	1	3
	大分県	別府港							1	5										
		吹浦漁港									1	3	1	3	1	3			1	8
	鹿児島県	山川漁港							1	5										
		枕崎漁港									1	3	1	4	1	4				
		野間池漁港																	1	8
	宮崎県	外浦港																	1	6



2021年度プロダイバー 水中クリーンアップ活動地域マップ



●北海道
- 厚瀬漁港（10月30日～11月3日）
- 泊漁港（11月5日～9日）
- 岩内港（11月11日～15日）

●山形県
- 由良漁港（11月27日～28日）
- 堅苔沢漁港（11月29日～12月1日）

●宮城県
- 石巻漁港（11月20日～24日）

●千葉県
- 千倉漁港（1月30日～2月3日）
- 和田漁港（2月6日～10日）

●神奈川県
- 平塚漁港　新港（11月30日～12月4日）
- 腰越漁港（1月23日～27日）
- 大磯港（2月13日～18日）

●茨城県
- 牛久沼（1月7日～11日・1月13日～17日）
- 涸沼（1月19日～20日）
- 霞ヶ浦（小美玉市）（3月5日～6日）

●埼玉県
- 川田谷沼（2月21日～25日・2月27日～3月3日）

●石川県
- 金沢港金石地区船溜（10月25日～27日）

●福井県
- 崎漁港（10月21日～25日）

●富山県
- 黒部漁港（11月20日～23日）

●岐阜県
- 東大江川（12月4日～7日）

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<北海道:15日>			0	0	3	15	3	15	4	15	4	15	3	14	3	14	3	15	3	15
北海道	道央	小樽港			1	5	1	5												
		浜益漁港							1	3										
		濃昼漁港							1	2										
		厚田漁港			1	5	1	5	1	5	1	5								
		浜益地区（幌漁港）									1	2								
		浜益地区（群別漁港）									1	3								
		古平漁港											1	5	1	5	1	5		
		美国漁港											1	5	1	5	1	5		
		厚瀬漁港																	1	5
		泊漁港																	1	5
		岩内港																	1	5
	道東	十勝港北区			1	5	1	5	1	5	1	5	1	4	1	4	1	5		

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<東北地方：10日>			0	0	7	24	4	14	3	15	3	10	2	9	3	8	2	9	3	10
東北	岩手県	岩洞湖			1	2														
	秋田県	能代港			1	5														
		米代川			1	1	1	1												
	山形県	酒田港			1	4.5	1	5												
		加茂港			1	3.5														
		鼠ヶ関港			1	4.5	1	3	1	5	1	4								
		由良漁港											1	5	1	1	1	5	1	2
		堅苔沢漁港																	1	3
	宮城県	仙台塩釜港			1	3.5	1	5	1	5										
		長沼									1	3	1	4						
		石巻漁港①													1	3	1	4	1	5
		石巻漁港②													1	4				
	青森県	三沢市 高瀬川放水路							1	5	1	3								

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<関東地方：35日>			2	9	9	27	9	35	8	32	8	32	9	33	10	31	4	19	9	50
関東	群馬県	榛名湖	1	5	1	5														
	栃木県	東古屋湖											1	5						
	茨城県	土浦市（霞ヶ浦）	1	4	1	1									1	1				
		美浦村（霞ヶ浦）			1	4	1	3												
		阿見町（霞ヶ浦）			1	3	1	5												
		かすみがうら市（霞ヶ浦）					1	1												
		土浦市（霞ヶ浦 大岩田船溜）							1	1										
		茨城町（涸沼）			1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1			1	2
		土浦市土浦港（霞ケ浦）											1	1						
		鹿嶋市（北浦 額賀船溜）									1	1								
		龍ケ崎市（牛久沼）					1	4	1	5									1	10
		牛久市（牛久沼）									1	5	1	5	1	5				
		稲敷市（霞ケ浦）											1	1						
		小美玉市（霞ヶ浦）																	1	2
	千葉県	興津港			1	1														
		野島漁港			1	1														
		富浦漁港			1	5	1	5	1	5	1	5								
		乙浜漁港			1	5	1	5	1	5	1	5	1	5						
		白間津漁港													1	5	1	5		
		七浦漁港											1	5	1	5	1	5		
		千倉漁港																	1	5
		和田漁港																	1	5
	神奈川県	茅ヶ崎漁港					1	5	1	5					1	3				
		平塚漁港 本港					1	5	1	5	1	5	1	5						
		平塚漁港 新港													1	3	1	4	1	5
		片瀬漁港							1	5	1	5							1	6
		大磯港									1	5	1	5						
		腰越漁港													1	3	1	5	1	5
	埼玉県	荒川舟溜り													1	4				
		荒川													1	1				
		川田谷沼																	1	10

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	36	170
<近畿地方：35日>			1	5	7	31.5	7	35	7	33	10	37	8	32	9	34	6	27	8	31
近畿	滋賀県	吉川港（琵琶湖）	1	5																
		早崎漁港（琵琶湖）			1	1.5									1	2			1	3
		八木浜溜（琵琶湖）			1	2									1	4			1	3
		南浜漁港（琵琶湖）			1	5									1	5			1	3
		朝妻港（琵琶湖）			1	3														
		能登川漁港（琵琶湖）			1	5														
		木浜漁港（琵琶湖）			1	5					1	5								
		北山田漁港（琵琶湖）					1	5			1	5							1	5
		知内漁港（琵琶湖）					1	5					1	4						
		志那漁港（琵琶湖）					1	5												
		堅田漁港（琵琶湖）					1	5			1	5					1	5		
		長命寺漁港（琵琶湖）					1	5					1	3						
		大溝漁港（琵琶湖）					1	5											1	4
		宇曽川漁港（琵琶湖）							1	5					1	4	1	3		
		出在家舟溜（琵琶湖）							1	5										
		沖之島漁港（琵琶湖）							1	5			1	3			1	4		
		牧舟溜（琵琶湖）							1	4					1	2				
		野村舟溜（琵琶湖）							1	4										
		針江大川舟溜・新川舟溜（琵琶湖）									2	3								
		瀬田舟溜（琵琶湖）									1	4	1	2			1	5		
		海津漁港（琵琶湖）											1	5						
		勝所港（琵琶湖）											1	5						
		切通し舟溜（琵琶湖）													1	5				
		磯漁港（琵琶湖）															1	5		
		赤野井港湾（琵琶湖）																	1	5
	三重県	鳥羽港			1	10	1	5	1	5										
		熊野 二木島港							1	5										
		尾鷲港									1	5								
		奈屋浦漁港													1	4				
	京都府	宮津港									1	5	1	5						
		旭漁港													1	3				
		浅茂川漁港															1	5		
	奈良県	津風呂湖																	1	4
	和歌山県	戸坂漁港・シモツピアーランド									2	5	1	5	1	5			1	4

全国36箇所170日実施（累計1178日実施）

Voice 水中クリーンアップ活動

～水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

山形県漁業協同組合 専務理事　西村盛さん

私は、漁師の倅に生まれてきて港も使っていますし、釣りもしています。釣り人がいるっていうのは、賑わっていて良いですよね。ただ、それは、釣り人と漁師が共生できていて初めてそういえることなのだと思います。山形県では、鶴岡市などでは、歴史的に酒井の殿様がクロダイ釣りを奨励した、釣りの文化がありますので、漁業者と釣り人がそんなに違う空気で動いていないという面もあります。漁港に来たら釣り人がいて、クロダイを釣っているというのがいわば日常の感覚ということもあるとも思います。

一方、サビキの針などが係船ロープに引っかかって、それで漁業者がケガをすることもあります。最近はコロナ禍の中、港内で釣りをされる方が多いですよね。具体的なトラブルでは、漁港内の漁業者の駐車スペースに遊漁者の車が停まっていて、漁業者が軽トラックを停めることが出来なくて、出漁できなかったということがありましたね。その時は、県の港湾事務所に話して、“ここは漁港施設で漁業者の皆さんの駐車スペースです”というような看板を立てて頂いたということがここ一年くらいでありました。

その意味では、やはりマナーですよね。ゴミを片付けていただくというのはマナーとして当然のことと思いますし、最近漁業者が気にしていることは、二馬力の船外機を付けたボートですね。ひとつは漁港から船を下ろして出発し、車を停めっぱなしにして誰もひと気がなければ、それが県外ナンバーの車だったりするとなお更、何かあったのかと心配して漁業者は対応するわけです。そこに竿をもって釣りしている人がいれば、県外から来て釣りしていると分かるのですが。

もうひとつは、エンジン故障や流されて帰れなくなったりする。救助依頼が海上保安部に入るのですが、大きな艦船で小さなボートに寄せられませんから、海上保安部から、漁港の水難救済会（漁業者による互助団体）に連絡が入り、結局、私たち漁業者が漁船で救助することになります。その場合、漁業者は何十人も操業を全部止めて対応することになります。もちろん操業できなかった補償もないわけです。それで、救助しても「私は漁船に助けてくれと頼んでいない」と言われたこともありました。

漁港の地面は、駐車場ではなく「干場（かんば）」というのですが、海藻を干したり、漁具を広げて網を洗ったりする作業に使うのですが、そこが、一日中とか半日とか、遊漁者の車で占領されてしまうと、その作業ができなくなってしまいます。魚をいっぱい釣って捨てられるのも困りますね。漁業者が捨てたのかと警察から問合せが来たりもします。

ただただ港の中で遊ぶだけではなく、釣り具がロストしたものが水中でどうなるか、その先を考えて欲しいなと思います。針ひとつあれば、そこにゴミなどが絡まったり、それが団子になるのはそう時間がかからない。漁船がプロペラに巻き込んでしまうと最悪エンジンまで壊れてしまうことも。大きくなると、幽霊操業（そこに魚が掛かってしまう）になってしまうこともあります。

その意味で、LOVE BLUE 事業で水中清掃をやって頂いていること、こういう業界団体という大きいところが、小さい港も気にして清掃していただいているということがとても助かります。そしてこういう事業を行ってもらっているということを漁業者に紹介することで意識も確実に変わってくると思います。

私たちも日頃から清掃活動が大事だと思って続けているので、今後も是非、水中清掃を続けて行ってもらいたいと思っています。ありがとうございます。

Voice 水中クリーンアップ活動

～水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

滋賀県 沖島漁業協同組合 代表理事組合長 奥村繁さん

私が組合長になってから、実施要望の手を挙げているのですが、最初は手を挙げておきながら、疑問がありました。完全無償で水中の清掃をやっていただけるなんて、本当にあるのかなと。潜って作業してくれる業者はあまりいなくて、無理をしてでもやってもらおうとすると、どうしてもお金がかかってしまうので、本当に完全無償でやってくれるのかなと、打合せまで不安でした。ただ、打合せの時にね、しっかりと丁寧に説明してくれたり、質問をしっかりと聞いてくれて、尚且つ、場所についてもこちらの要望を聞いてやってもらえると言って頂いて、だんだんと信用出来るようになってきました。そして、信用出来るなと思った一番の決め手は、わざわざ遠くから説明に来ていただいてね、完全無償でやってくれると説明を聞いたから、せめて、気持ちだけでも、喉を潤して頂きたいと思って、お茶をどうぞと渡したら、お気持ちだけ頂きます。ありがとうございます。とお断りをされたんですよ。この時代に現実的にこういうのがあるのだと感動してしまって、そこから信用して大丈夫だと思いましたね。実際に水中の清掃をやってもらった時はほんとに、感謝感激でした。私は、出来ることなら毎年やってもらいたいと思っていますし、組合のみんなも感謝しております。

地球環境基金 企業協働プロジェクト　LOVE BLUE 助成

～全国に広がる感謝の輪～　7年累計 1都1府20県31団体

地球環境基金企業協働プロジェクト・LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。　LOVE BLUE 助成は、(一社) 日本釣用品工業会より LOVE BLUE 事業の一環として、寄付した資金を基に、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金とは環境庁(現・環境省)が中心となって、民間団体(NGO・NPO) による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993 年 5 月に創設されました。

LOVE BLUE助成団体

2021年度	
東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
兵庫県	アイサーチ・ジャパン
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
石川県	NPO能登半島おらっちゃ里山里海
東京都	DEXTE-K
神奈川県	(一社) スピリット・オブ・セイラーズ
大阪府	大阪海さくら
大阪府	大阪自然環境協会
高知県	夢創房室戸迎鯨の杜

2015年度	
香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
香川県	海守さぬき会
東京都	(一社) JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2016年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2017年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

2018年度	
沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばろ会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっちゃの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

2019年度	
東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO未来の荒川をつくる会
熊本県	次世代のためにがんばろ会
鹿児島県	NPOくすの木自然館
長崎県	やったろうde高島
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃ里山里海

2020年度	
東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
鹿児島県	NPOくすの木自然館
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃ里山里海
東京都	DEXTE-K
香川県	NPOアーキペラゴ
神奈川県	一般社団法人スピリット・オブ・セイラーズ

Voice 地球環境基金 企業協働プロジェクト　LOVE BLUE 助成

～ LOVE BLUE 助成 2021 年度採択団体　日々の活動～

東京都　全国川ごみネットワーク

プラスチックごみ削減普及啓発プロジェクト

６小学校において、川や海ごみ削減の出前授業を実施し、児童が各自の生活と海ごみの関連を知り、ごみ削減の行動変容を促しました。地域の活動リーダーも一緒にサポートして、地域で広がるように考えました。啓発ツール検討会を開催し、地域での広がりに役立つツール等の検討や改善などを行いました。

LOVE BLUE 助成を受けたことにより、小学校での出前授業を複数校で実現できました。助成金事業ということで小学校からの信頼も高まったことと思えます。また子どもたちが学び考える機会ができたことに加え、私ども組織の啓発スキルの向上、地域での川学習の広がりも図れたことが成果となりました。

出前授業の実施を継続し地域活動リーダーの活躍を推進します。さらに地域活動リーダーが川や海ごみ削減のリーダーとなるのに役立つようなポイントブックを本助成金事業３年間の集大成として作成し、各地で川ごみ削減の啓発が進むことを目指します。

代表理事　金子 博さん

兵庫県　NPO 神戸海さくら

須磨の自然と歴史を学び海洋環境を守り育てる活動

毎月１回のビーチクリーン 17 回と、海水浴場開催期間に該当する 16 回を合わせて、計 33 回のビーチクリーンを行い、延べ 2058 人が参加しました。また、専門家による環境セミナーを３回開催しました。神戸市内の公立中学校二校と兵庫県「トライやる・アクション」の一環として協働で須磨海岸清掃を実施しました。

神戸市環境局主催の海洋プラスチックごみを使用した啓発展示に協力団体として参画し、海洋プラスチックごみの回収に協力しました。須磨海岸で拾い集めたプラスチックごみを使用し、水族館をイメージして制作したエコアート『プラごみ水族館』を展示しました。
なお今年度は、新聞２回、テレビ放送１回、ラジオ放送１回のメディアに取り上げられました。

海洋プラスチック問題が今、世界的な注目を浴びています。ひとたび海に流れたゴミは回収することが非常に困難となることから、水際でゴミの海への流入を防ぐ私たちの活動は、益々重要になってくると思います。大都市における海洋環境保全のロールモデルになれればと思います。

理事長　森口 智聡さん

兵庫県　アイサーチ・ジャパン

西日本におけるイルカ・クジラに関する教育・啓発活動の充実と普及

海やイルカ・クジラを想いながら親子で楽しく海岸のごみ拾いを行うイベントや、ホエールウォッチングガイドや調査員による講演会の実施を行いました。また、イルカ・クジラを通して自然環境を考える子ども向けワークショップの実施と環境に優しい生活の提案を地域に密着したイベントにて行いました。

LOVE BLUE 助成を受けたことにより、関西圏での活動回数が大幅に増えました。団体の認知が高まり、会員やボランティアスタッフの西日本在住の方による新規参加が増えました。また、企業や他団体からの活動実施やコラボレーションのお問合せも多数いただきました。
活動する中で、大阪・兵庫は海と密接に関わる地域であること同時に、その身近な海にイルカ・クジラが暮らしていることはあまり知られていないと改めて実感しました。西日本での活動はまだ始まったばかりです。地域と連携した活動を実施し、より活動の幅を広げていきたいと考えています。

事務局長　石塚 誉子さん

福岡県　宗像フェス CSR 推進実行委員会

日韓海洋プラスチックリサイクル環境学習

日韓の学生で日本海を挟んだ、釜山、福岡の双方の海岸を同時清掃し、ネット中継で日韓の学生でマイクロプラスティックが環境に与える影響などの講義を受けた後に環境ディスカッションをしました。双方で回収した海洋プラスティックを合わせて日本でリサイクルを行います。

LOVE　BLUE の助成を受けたことにより、活動出来た事で、企業理念の実現に向けて、積極的に CSR 活動に取り組んでいる企業から、一緒に海岸清掃をしたいと言う申し入れがあり、今夏に実行することとなりました。

基盤が出来たこの体制を基に、更に学生主導の団体を組織して自主的に環境問題を考え取り組んでいく運営スタイルを宗像フェス CSR 推進実行委員会は学校、企業、行政と連携しながら運営サポートを行って参ります。

実行委員長　濵田 修一さん

Voice

埼玉県 NPO ジョイライフさやま

環境保全の大切さを伝える自然体験・地域交流の創出

今年度、唯一参加者との交流が出来たのは田植えの事業のみと成りましたが、子供のはしゃぐ笑顔と生き生きとした姿を今まで見たことがないとのお話を伺い、活動出来て良かったと思う瞬間でした。

水辺周辺の自然体験環境学習が出来ませんでしたが、周辺の除草、剪定、ごみ集積活動においてはしっかりとした活動を生み、第 41 回緑の都市賞を受賞の際に佳子内親王からお言葉を頂けたり、県知事による彩の国環境大賞を受賞出来、テレビ埼玉の取材を受け放映されました。

住み慣れた自然の環境は樹林や、河川だけでは無く、生き物にとって、人間にとって、大切な要素を含み身近なところに多様な生き物と自然環境が広がる様子を学べ、自然を通してこれからも体験学習の活動が出来ると感じています。

理事　高杉 克江さん

大阪府 大阪海さくら

大阪湾でアマモを育て海の生き物を知ろう、淀川ゴミ拾い『大阪海さくら』

大阪湾河口の淀川で毎月 1 回楽しくごみ拾いをする。江井ヶ島で地曳網と生物観察会。アマモの種採取から養生、種まき育苗して苗を岸和田沖『ちきりアイランド』へ移植。初夏は此花区マリーナで、海と陸のごみ拾い・マリンスポーツの体験会の開催。秋は堺市のライブハウスで音楽と『ちりもんカード作り』を企画。海ごみの話をする。

活動の起爆剤が入ったように堂々と行動を起し目標を人々に PR することができた。年間を通した多くのイベントをスタッフと共に働けた。大阪市には浜がないので、大阪湾の端を廻りながら海のイベントをしているが、やっと地元此花区役所と繋がりだした。朝日放送も SDG' s の関係で 2 日間の取材をしてくれた。大阪の高校が 1 年間コラボ。専門学校生が告知デザインを担当し作品制作をした。

大阪湾の各地を活発に訪ね、地元の人たちとコラボする。地元此花区で開催の２０２５大阪万博にも、他企業や団体とパートナーシップをとり“ひとりひとりの小さな力でも自然や海を守ってゆける”ことを広めたい。

代表　那須 睦美さん

大阪府 大阪自然環境保全協会

遠征観察会やごみ拾いの実施による『海洋プラスチックごみをなくす社会を目指した意識改革』活動

豊かな自然環境が残る半面、大阪湾のゴミが集まる無人島への日帰りバスツアー「成ヶ島ツアー」を２回、外国からの漂着ゴミが大量に漂着する若狭湾の砂浜でヤシの実や貝がらなどを拾うビーチコーミングを楽しむ「若狭湾ツアー」を１回、計３回のエコツアーを実施しました。

海洋プラスチックごみ問題といってもなかなか実感がわかないものですが、実際に漂着する現場へ行き、現地で取り組む人の話を聞くこと、また同時に存在する豊かな自然を楽しむことで、自分自身に関わる問題としてプラスチックごみを発生させないようにするにはどうすればいいのか考えるきっかけとなりました。

昨年はコロナのためバスツアーや室内プログラムが思うようにできませんでしたが、今年はバスツアーの定員も元に戻し、一人でも多くの人にツアーや講演会に参加していただけるようにしたいです。また昨年初開催の「若狭湾ツアー」のプログラムをさらにブラッシュアップしたいです。

代表理事・副会長　田中 広樹さん

石川県 NPO 能登半島おらっちゃ里山里海

能登の里海環境・文化の持続可能性構築

釣り大会やクリーンビーチは、小・中学校を巻き込み定着してきました。ミニ地引網による里海調査や保全林散策などのふるさとの海や山を知る活動、アサギマダラや砂ガニの調査なども継続しました。２回目となった「里海ウォーキング」は、今後の魅力的なプログラムとしての手ごたえを感じています。

楽しむ活動としての釣り大会は、コロナ感染リスクも低いことから参加者も増加傾向で、海水浴シーズン前に実施するクリーンビーチとともに地元小学生に定着しつつあります。ミニ地引網による里海調査や、冬の海の魅力発見につなげようと実施した「里海ウォーキング」は、観光資源として交流人口の増加にも期待できます。

当法人がこれまで蓄積してきた作業や体験プログラムをマニュアル化し、映像での記録化を進めることで、環境学習素材の整備のほか、体験プログラムのガイド役の人材育成に生かしたいと考えています。この魅力ある活動をアピールし、若手会員の増強にもつなげていきます。

理事長　多田 進郎さん

Voice

東京都　DEXTE-K

西なぎさ発:東京里海エイド(ラムサール条約に登録された葛西干潟における漂着ごみ収集を中心とした保全活動)

■参加者総数：216 名（大人：168 名、子ども：48 名）
■漂着ごみ：45 ℓ ゴミ袋× 152 袋
■粗大ごみ:67 個（バイク部品、工事標識、プラかご、冷蔵庫蓋等）
■危険ごみ：75 個（注射器、使い捨てライター、ボンベ類等）

■「西なぎさ発：東京里海エイド」が評価され、東京 2020 大会聖火ランナーとして選抜され、トーチリレーに参加。
■マイクロプラスチックに関する出前授業を、3 件実施。
■読売新聞＆江戸川テレビにて活動＆代表が紹介された。

引き続き、他の NPO 団体と連携し、臨時のフィールド活動やマイクロプラスチックの実態についての出前授業を実施していく。またリピート参加者を増やすべく「里海パスポート」を導入し、ファンやステークフォルダーを増やしていく。

DEXTE-K　橋爪 慶介さん

高知県　夢創房室戸迎鯨の杜

海辺の環境保全と海洋文化の伝承プロジェクト

生活様式等の変化等による海洋環境の保全や地域の海洋文化を継承していくために、今年度①海洋生物観察会②海岸の清掃活動③漁村体験（魚釣りなど）などを実施した。さらに、ワークショップを行い持続可能な活動内容の充実を図った。

環境学習を通じて生物多様性と自然環境の重要性について、参加者の意識を高めるとこができた。また、体験活動を通じて地域の海洋文化にふれることができ関心度を高められた。今回の活動を通じて、行政や関係団体との連携もでき活動の理解や協力が得られことは大きく継続的な活動の礎となった。

今年度の活動をベースに、自然観察活動や保全活動の持続化を促進し、フロントリーダーとしての役割を担っていければと思っている。また、そのため推進体制のネットワーク化を図ると共にリーダーなど人材育成にも努めていきたい。

理事長　横山 昌三さん

神奈川県　(一社)スピリット・オブ・セイラーズ

Ocean College ～海を学び、地球を感じる体験～

海上の漂流ゴミを減らすため、参加者の方と船での海上ゴミ清掃を通して環境保全について考えることで自発的な行動に繋げるプロジェクトを行なっています。また清掃活動をオンラインで毎月実施し、参加者が各地域の清掃活動の様子や感想、拾ったゴミの量を SNS にアップして全国でゴミ拾いの輪を広げていきました。

LOVE BLUE 助成を受けたことにより活動の継続性がうまれ、参加者が増加するとともに協力団体が日本全国に 14 団体増えました。また、環境保全に関して発信をしている複数のサイトにもご紹介いただく機会が増えました。(持続可能な海を共創するダイビングと海の総合サイト【オーシャナ】、一般財団法人 公園財団 等)

この活動は継続することで認知される機会が広がり参加者や協力者の増加に繋がっています。海洋問題を身近な事として考え、生活の中や普段の活動の中で続けられる形になることで持続性がうまれるので、船でのゴミ拾いを通して新たな地域や団体との協力を広げていきたいと考えてます。

代表理事　山本 海さん

専門機関と連携した放流事業

～放流事業の全国展開（4 年度目）～

2013 年 4 月の事業開始より 2017 年度まで、専門機関と連携した放流事業として、公益財団法人神奈川県栽培漁業協会へ事業委託し、釣り人の皆様に喜んで頂けるよう、毎年マダイ稚魚を神奈川県側の東京湾へ 20 万尾（5 年間累計 100 万尾）放流すると共に、漁獲・釣獲の面から放流効果調査も進めて参りました。

この公的栽培機関と連携した 5 年間の放流事業の実績から「一定の海域・資源量を基礎にした放流量の指針」を得るとともに、栽培養殖に係る公共機関との信頼関係を醸成することが出来ました。このような背景を基礎に 2018 年度から、全国各地の公的栽培機関と連携・協力体制を構築しながら、一定の海域・資源等も踏まえた『釣り人の皆様に喜んで頂ける、釣りに利活用出来る魚種』の放流を各地で進めて参りたいと考えました。

そのため、まずはこれまでの実績と信頼関係を基に、2017 年度内に栽培事業に関する中央団体である「公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会」へ LOVE BLUE 事業へのご協力を依頼させて頂き、そして 2018 年 1 月 30 日に開催された、第 3 回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議・平成 29 年度栽培漁業推進全国会議以降、毎年度会議の席でご説明の機会を頂き、2021 年度も 2022 年 1 月 26 日に、各都道府県の水産担当者や栽培機関の方々へ、LOVE BLUE 放流事業へのご協力のお願いをさせて頂いています。

第7回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議
LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼

釣り人の皆様からの浄財を適正に事業推進する枠組み
専門機関と連携した放流事業の全国展開
～（公財）神奈川県栽培漁業協会との放流実績から～

↓

栽培漁業協会中央団体
公益社団法人 全国豊かな海づくり推進協会
（旧）日本栽培漁業協会

↓

第 7 回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議
令和 3 年度栽培漁業推進全国会議

↓

都道府県水産担当者
（栽培漁業）
『栽培基本計画策定』

都道府県 栽培漁業協会
『種苗生産施設』

↓

各地での栽培魚種の中から、釣り人に喜ばれる魚種の放流

専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

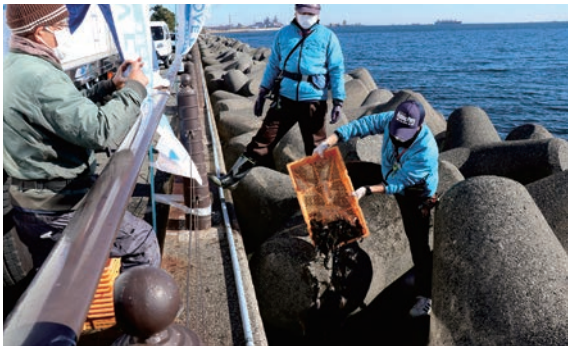
LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、
2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

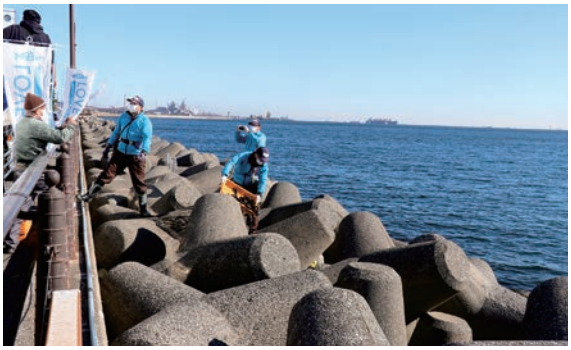
秋田県
（マダイ2万220尾・クロソイ2万尾・ヒラメ3万2105尾）

（公財）秋田県栽培漁業協会

神奈川県
（マダイ9万8000尾・カサゴ5000尾）

（公財）神奈川県栽培漁業協会





専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、
2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

新潟県
（ヒラメ8万尾）

（公社）新潟県水産振興協会

静岡県
（マダイ3万尾・ヒラメ3万尾）

（公財）静岡県漁業振興基金

専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

2021年度 1府10県9魚種 710万2558尾

累計 9 年間 1645 万 6713 尾

滋賀県
（ホンモロコ400万尾・ゲンゴロウブナ250万尾）

（公財）滋賀県水産振興協会

大阪府
（キジハタ1万尾）

（公財）大阪府漁業振興基金

専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、
2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

山口県
（マダイ6万8000尾）

（公社）山口県栽培漁業協会

熊本県
（カサゴ7万6800尾）

（公財）くまもと里海づくり協会

専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

2021年度 1府10県9魚種 710万2558尾

累計 9 年間 1645 万 6713 尾

大分県
（ヒラメ4万4200尾・イサキ5万6200尾）

（公社）大分県漁業公社

宮崎県
（カサゴ8万3333尾）

（一社）宮崎県水産振興協会

専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、
2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

長崎県
（カサゴ1万7500尾・クエ8000尾）

（株）長崎県漁業公社

2021年度 1府10県9魚種 710万2558尾

累計 9 年間 1645 万 6713 尾

専門機関と連携した放流事業

～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

大分県国東市立
安岐小学校

校長　山田弘司（当時）**さん**

今回のLOVE BLUE専門機関と連携した放流事業７月１日大分県漁業協同組合安岐支店地先での、ヒラメ3,000尾の放流について、安岐小学校の子どもたちにこういった経験が全く無いので、とてもいい経験になったと思います。

今日は２年生、３年生だったんですけれども、小さい子の方が反応がいいので、たぶん子供たちの印象に残っていると思います。とても喜んでいると思います。私は以前の勤務場所が海が近かったので釣りをしていたのですが、こっちに来てからは中々行けていなのですが、自分で釣って、捌いて食べるっていうのは、自分自身いい経験になっています。なので、今回子どもたちにこういった経験をさせてあげることが出来て、大変感謝しております。本当にありがとうございます。

大分県漁業協同組合
安岐地区

漁業運営委員長　齋藤信二 さん

今回御世話になった放流のヒラメ４万4200尾はとても役に立ってます。ヒラメは稚魚が大きいから、育ちがいい。他の魚と比べてヒラメは１年で成長が早いからいいんです。放流の魚が多ければ多い方がいいよね。全部が全部育つわけではないからさ。放流しても他の魚に食べられたり、カレイなんかは食べられるのが多いけど、ヒラメは口が大きいから、他の魚を食べたりして成長が早いもんな。カレイは値段が高いけど、育ちが悪いから、ヒラメは育ちがいいから助かっていますよ。この放流事業は大変ありがたいですよ。とても助かっています。

水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業
～内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）は、2021 年度は 3 団体を採択～

水産庁ご後援の下、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門 沿岸生態システム部 内水面グループや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂き、2017 年度より事業開始致しました。5 年度目の 2021 年度からは全国 21 団体へと展開致しました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等と連携しながら推進していきます。

2022 年 2 月 14 日（月）
第 25 回ワカサギに学会 ZOOM 開催

第25回「ワカサギに学ぶ会」

日時：令和4年2月14日(月)　13：30～17：00
場所：Web会議 https://us06web.zoom.us/j/3898876589?pwd=MHJ3YkZ0Tm

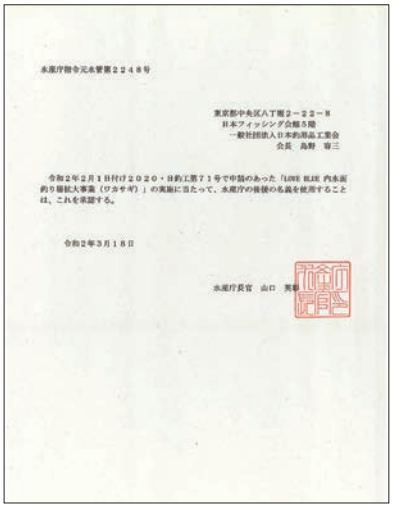
次　第

1 開　会
2 挨　拶
3 話題提供
(1)「コオニューを活用した用いたワカサギの耳石標識技術の開発」
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所　主任研究員　宮本 幸太
(2)「小型ドムシを用いたワカサギ仔魚飼育」
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所　主任研究員　増田 賢剛
(3)「琵琶湖におけるワカサギ資源の維持について」
滋賀県水産試験場　内水面試験場　技師　高橋 慶大
(4)「芦ノ湖におけるワカサギの自然産卵と付着基質の開発」
神奈川県水産技術センター　内水面試験場　技師　本多 敬
(5)「霞浦でのワカサギ資源動態」
茨城県水産試験場　研究員　鈴村 誠司
(6)「琵琶湖へ導入されたカダヤシについて」
北海道立総合研究機構　調査比較試験場　主査　深野 祐一
(7)「水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業～内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）の二期目～」
（一社）日本釣用品工業会　専務　神谷 博司

4 総合討論
5 その他
6 閉　会

「第 25 回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業をご説明する機会をいただきました。（参加 4 年度目）

水産庁後援名義使用許諾 文書


水産庁指令元水管第２２４８号

東京都中央区八丁堀２－２２－８
日本フィッシング会館５階
一般社団法人日本釣用品工業会
会長　島野　雅三

令和２年２月１日付け２０２０・日釣工第７１号で申請のあった「LOVE BLUE 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）」の実施に当たって、水産庁の後援の名義を使用することは、これを承認する。

令和２年３月１６日

水産庁長官　山口　英彰

5 年間累計 21 団体

2021 年度
019：奈良県　津風呂湖
020：大分県　大山ダム
021：北海道　濤沸湖

2017 年度
001：群馬県　鳴沢湖
002：長野県　美鈴湖 / 小花見池

2018 年度
003：埼玉県　名栗湖
004：千葉県　高滝湖
005：兵庫県　音水湖
006：茨城県　霞ヶ浦
007：群馬県　梅田湖
008：島根県　尾原ダム湖
009：山梨県　河口湖

2019 年度
010：佐賀県　北山湖
011：山形県　横川ダム
012：山梨県　山中湖
013：北海道　しのつ湖

2020 年度
014：兵庫県　東条湖
015：北海道　網走湖
016：栃木県　川俣湖
017：新潟県　奥只見湖
018：宮城県　花山ダム

水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

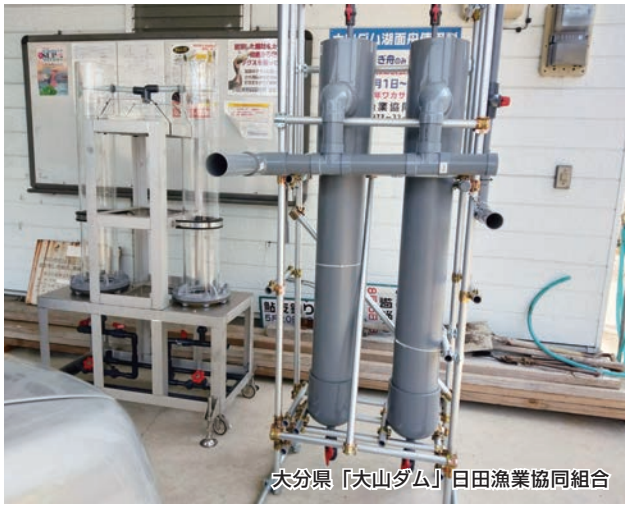
つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業
～内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）は 2021 年度3団体を採択～

2021年度採択団体（3団体）

■奈良県「津風呂湖」津風呂湖漁業協同組合　自然産卵水槽2基/親魚捕獲用定置網3張
■大分県「大山ダム」日田漁業協同組合　2連式孵化器1基/2連式可搬型孵化器1基/自然産卵用水槽2基/親魚捕獲用定置網1張
■北海道「濤沸湖」網走漁業協同組合　取水ポンプ1台/汚泥ポンプ1台/親魚捕獲用漁網1張

奈良県／「津風呂湖」津風呂湖漁業協同組合

奈良県／「津風呂湖」津風呂湖漁業協同組合


大分県「大山ダム」日田漁業協同組合

大分県「大山ダム」日田漁業協同組合

北海道「濤沸湖」網走漁業協同組合

北海道「濤沸湖」網走漁業協同組合

Voice 水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

～ワカサギ事業感謝の声～

山梨県 山中湖漁業協同組合 副組合長　長田一久さん

水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）で漁網と水槽を支援していただいて、大変感謝しています。私どもにとってはワカサギは大事な資源でありますから、そのワカサギをどのように増やすのか、減らさないのかという事を毎日考えています。また、山中湖はワカサギ釣りのお客さんも多く来てくれるので、その人たちに釣ってもらうためにワカサギを増やしていかないといけないと思っています。ワカサギが増えれば、釣りのお客さんももっと多く来ていただけるようになって、地域の活性化にも繋がればと思っています。今回、水槽と漁網を支援していただいたことで、水槽は１台は持っていたのですが、もう１台いただいたことで、持ち運んで使う事が出来るようになりました。また、親魚を捕獲する漁網も活用していて、とても役に立っています。支援いただいたからには頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。とても助かっています。

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

原田義昭 環境大臣へ表敬訪問

2019年6月20日　環境省環境大臣室

原田 環境大臣からは、2013年度から7年目となる、全国各地の水辺の環境保全に取り組む当事業の実績に対して「国内全体へ、細やかに取り組まれている、素晴らしい事業ですね」と評価いただきました。

また、当事業と環境省の関係では、（独法）環境再生保全機構・地球環境基金 企業協働プロジェクト第一号として創設され、2015年に望月義夫環境大臣からも感謝状をいただいた「LOVE BLUE助成」が、全国各地で水辺の地球環境保全に取り組むNGO・NPOなどを支援していることについて、改めて感謝の言葉をいただきました。

左から：大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事

環境省表敬訪問

2017年1月20日　環境省事務次官室

LOVE BLUE事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017年1月20日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今ではLOVE BLUE事業として、例えば全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ 頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となって参りました。昨年（2016年）のG7伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーアップ活動をお役立て頂くなど、様々なご要望にお応えしております。LOVE BLUE事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。

中央：小林正明 環境事務次官、左から、松下和夫 京都大学名誉教授、大村一仁 副会長、島野容三 会長、小島忠雄 顧問

環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

2015年6月10日　環境省総合政策局長室

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開するLOVE BLUE事業は、2015年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地 球環境基金　企業協働プロジェクト」の第1号「つり環境ビジョン助成」をスタートさせました。この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行うNPO・NGO等の団体に対し、その活動を支援する為の助成で、2015年度は、全国8団体を支援しました。上記の事業を踏まえた、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である6月5日付にて、環境大臣より感謝状をだされ、そして6月10日（水）、LOVE BLUE委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長より授与されました。

右から、環境省総合環境政策局 小林正明 局長、小島忠雄 顧問

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

塩田康一 鹿児島県知事 表敬訪問

2021年3月24日　鹿児島県知事室

鹿児島県庁知事室にて、塩田康一知事へ、（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長と同会 小松智昭 専務理事、柿沼清英　理事が表敬訪問を行いました。

冒頭、小島委員長は「本日は大変お忙しい中、このような機会を賜り誠にありがとうございます。私どもが社会貢献事業として取り組む LOVE BLUE 事業を鹿児島県内ではプロダイバーによる水中クリーンアップ活動と共に、錦江湾内へのマダイ放流をご活用頂き心より感謝致しております。」と話し、併せて、釣り人の皆様が釣り用品を購入いただいた売り上げの一部を財源として、釣り界を挙げての取り組みであることや、これまでの鹿児島県内での放流実績などの報告を行いました。

塩田知事からは、鹿児島県内での LOVE BLUE 事業実施への御礼とともに、2020年度の放流現地に訪れたこと、自主財源での実施や漁港や港湾等での清掃活動へも関心が示され、釣りについても「今年も行ったんですが釣果が振るわず、漁師にはなれませんね（笑）」など、終始和やかな懇談となりました。

中央 塩田康一 鹿児島県知事、中央右 前田かおる（公財）かごしま豊かな海づくり協会 事務局長、中央左（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 専務理事 小松智昭、最左 同会 理事 柿沼清英

大井川一彦 茨城県知事 表敬訪問

2018年9月28日　茨城県知事室

第 17 回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦 2018：10/15 ～ 10/19）の開催を前に、釣り 界が取り組む、LOVE BLUE 事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議での LOVE BLUE 事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内での LOVE BLUE 事業の推進をお伝えするため、（一社）日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦 茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦 知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアップ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です！引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。

左から、柿沼清英 理事、加藤誠司 副会長、島野容三 会長、大井川和彦 茨城県知事、大村一仁 副会長、小島忠雄 顧問

中村かおり 鹿児島県副知事表敬訪問

2021年3月24日　鹿児島県副知事室

中村かおり副知事との懇談の機会があり、中村副知事からは「本日のようにご来訪頂くことで、県としても県内からの視点ではなく、外から見た鹿児島の価値を再認識する機会となります。その意味でもご来訪頂き心から御礼申し上げます。是非ともまた鹿児島県を宜しくお願い致します。」との感謝のお言葉をいただきました。

中央左 中村かおり 鹿児島県副知事、最左 前田かおる（公財）かごしま豊かな海づくり協会 事務局長、中央右（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 柿沼清英 理事

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

木田久主一 鳥羽市長表敬訪問

2016年5月19日(木)　三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重 県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬 訪問しました。

G7伊勢志摩サミットへ連なるLOVE BLUE事業の「格」

島野会長：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を 頂きありがとうございます。あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができまして、我々といたしましては、これまでLOVE BLUE事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と 真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにして頂 いていることに心から感謝申し上げます。 市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素 晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。

左から、鳥羽市 木田久主一 市長、島野容三 会長

石井裕 南房総市長 表敬訪問

2016年4月18日(月)南房総市役所市長室

LOVE BLUE事業を評価 委員長:水中クリーンアップ活動の他にも、昨年度から「つり環境ビジョン助成」という活動を始めています。これは独立行政法人環境再生保全機構における地球環 境基金企業協働プロジェクト第1号として始まったもので、水辺の環境保全を考えるNPOなど諸団体を全国 規模で支援するものです。昨年度は、8団体を助成いたしました。その活動を評価頂き、環境大臣から感謝状を授与されました。

市長：それはすごいですね。さまざまな活動をされている中で、私たちの南房総市を水中クリーンアップ活動の場として選んで頂いてうれしく思っています。水の中は自分たちでは、なかなか清掃できないので、プロのダイバーの方々に水中を清掃頂けるのは、とてもありがたいです。

市長：南房総市は三方を海に囲まれているので、多くの釣り人が訪れます。南房総市の観光シーズンは冬なのですが、釣り人の皆さんには年間を通して、楽しんで頂いているようです。

左から、南房総市 石井裕 市長、小島忠雄 顧問

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

富岡賢治 高崎市長 表敬訪問

2018年3月28日（水）　高崎市役所市長室

LOVE BLUE 事業は、社会貢献事業として実施する水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）について、2018 年 3 月 28 日、群馬県高崎市 富岡賢治 市長へ、同市鳴沢湖公営釣り場にワカサギ卵孵化施設一式設置のご報告及び御礼のご挨拶に、当工業会 大村一仁 副会長、小島忠雄委員長、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事らが表敬訪問を行い、富岡賢治 市長より、「ワカサギ釣りは地元高崎氏にとっても大きな収入源の一つとなっております。地域経済の発展なども含めて、本当にありがたいです。」と感謝のお言葉をいただきました。

左から、富岡賢治 市長、大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長

（公財）かごしま豊かな海づくり協会　訪問

2021年3月24日　鹿児島県水産会館

（公財）かごしま豊かな海づくり協会は鹿児島県水産会館にて理事会を開催され、その席上、小島委員長から「LOVE BLUE 事業の目的は、自然環境の保全・持続が根底にあり、水中清掃活動から歩みを始め、放流事業にも取り組ませて頂いております。魚族資源は化石燃料とは異なり海洋環境保全や資源増殖などの努力を重ねることで豊かな恵みとしての持続につながります。その一助として、鹿児島県で LOVE BLUE 事業をご活用いただいたことへ心より御礼申し上げます。」と挨拶がありました。

鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長からは、「豊かな海が大事です。長く漁師をやってきているので資源が少ない実感があり、鹿児島でのマダイ放流は本当にありがたい。心から感謝しています。」との御礼があり、（公財）かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長からも「鹿児島ではマダイは豊かな海の象徴です。また機会がありましたら、是非、鹿児島県でのマダイ放流を LOVE BLUE 事業で支援して頂きたい。」とのご要望がありました。

右から、（公財）かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長、（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、同会 理事 柿沼清英

～環境系トップリーダーとの鼎談～

2019年12月12日　（株）シマノ本社

2019 年 12 月 12 日（木）、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の周知広報の一環として、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 小辻智之 理事長と京都大学 松下和夫 名誉教授と一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長による「LOVE BLUE 世界に誇れる水辺環境の保全」とのテーマでの鼎談（三社対談）が行われました。

左から、独立行政法人環境再生保全機構 小辻智之 理事長、一般社団法人日本釣用品工業会　島野容三 会長、京都大学 松下和夫 名誉教授

Voice 水中クリーンアップ活動

※役職は当時のものです。

～これまでの水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

クリーンアップひぬまネットワーク　谷萩八重子さん

2019年7月13日　涸沼水中清掃実施

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県涸沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーアップひぬまネットワーク事務局よりご要望頂き、LOVE BLUE事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。

同ネットワーク・谷萩八重子会長からは「私たちでは出来なかった水中の清掃をLOVE BLUE事業が取り組んでいただけたおかげで、涸沼はラムサール登録湿地となれました。本当に感謝しております。ありがとうございます！」とのお言葉をいただきました。

霞ヶ浦問題協議会 会長　中川清さん

2018年3月4日～8日　額賀船溜水中清掃実施

国内第2位の面積を持つ湖・霞ヶ浦。その流域24自治体が連携して取り組む陸上清掃イベント「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携し、水中クリーンアップ活動を実施致しました。主催者である「霞ヶ浦問題協議会」会長でもある中川清土浦市長からは「いつも霞ヶ浦の水をキレイにする為に、水中クリーンアップ活動を実施していただき、ありがとうございます！」とお喜びの声をいただきました。

熊野漁業協同組合 理事　山下眞次さん

2016年5月10日～14日　二木島港水中清掃実施

「二木島港は湾の奥やから、流されてきたゴミが溜まりやすいんでね。僕らも岸壁の上は掃除するけど、海の中は専門の技術や装備がいるし、お金もかかるし、自分らではできないでしょう。だから、みんな『ありがたい』と言っているよ。水中クリーンアップ活動が始まって一番びっくりしたのは、作業員さんたちがみんな礼儀正しいこと。誰かが通るたびに丁寧に挨拶してくれるから、ここの若い子らもみんな関心しとったよ。」

水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

～これまでの採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2017年採択団体（2団体）

■群馬県「鳴沢湖」群馬県水産試験場　自然産卵水槽
■長野県「美鈴湖」「小花見池」長野県水産試験場　ソーラー式可搬型孵化器

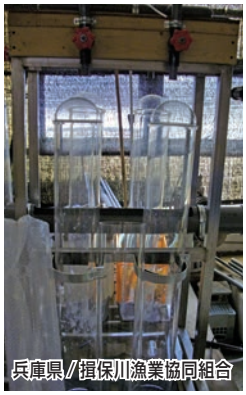
群馬県／群馬県水産試験場

長野県／長野県水産試験場

2018年採択団体（7団体）

■埼玉県「名栗湖」入間川漁業協同組合　4連孵化装置
■兵庫県「音水湖」揖保川漁業協同組合　4連孵化装置
■群馬県「梅田湖」両毛漁業協同組合　ソーラー式可搬型孵化器／自然産卵水槽
■千葉県「高滝湖」養老川漁業協同組合　親魚捕獲用定置網
■島根県「さくらおろち湖」さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会　4連孵化装置
■茨城県「霞ヶ浦」霞ヶ浦漁業協同組合　自然産卵水槽
■山梨県「河口湖」河口湖漁業協同組合「親魚捕獲用定置網

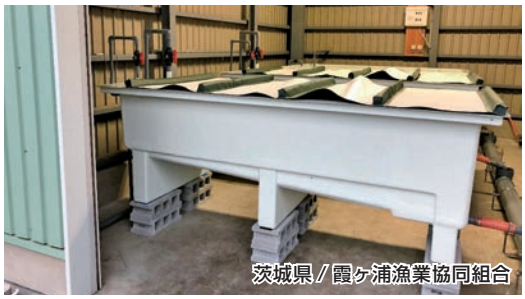
埼玉県／入間漁業協同組合

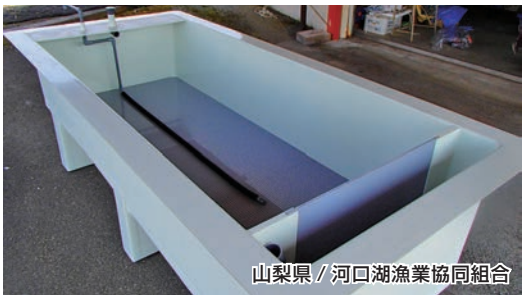

兵庫県／揖保川漁業協同組合

群馬県／両毛漁業協同組合

千葉県／養老川漁業協同組合

島根県／さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会


茨城県／霞ヶ浦漁業協同組合

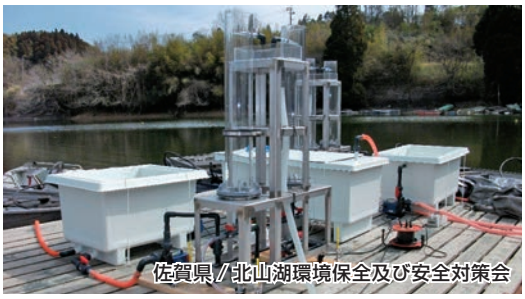

山梨県／河口湖漁業協同組合

水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

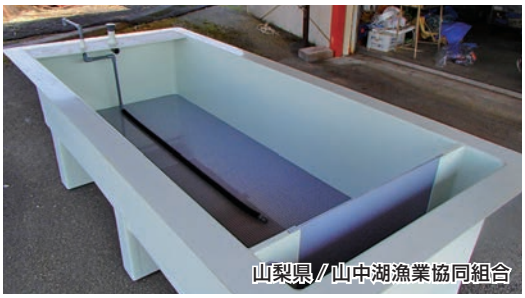
～これまでの採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2019年度採択団体（4団体）

■佐賀県「北山湖」北山湖環境保全及び安全対策会　2連孵化装置/自然産卵水槽
■山形県「横川ダム」小国町漁業協同組合　サランロック／ゴムボート
■山梨県「山中湖」山中湖漁業協同組合　親魚捕獲用定置網／自然産卵水槽
■北海道「しのつ湖」新篠津村　2連孵化装置／自然産卵水槽


佐賀県／北山湖環境保全及び安全対策会

山形県／小国町漁業協同組合


山梨県／山中湖漁業協同組合

北海道／新篠津村

2020年度（5団体）

■兵庫県「東条湖」加古川漁業協同組合 4連孵化器1基/自然産卵水槽1基
■北海道「網走湖」西網走漁業協同組合 自然産卵水槽6基
■栃木県「川俣湖」川俣湖漁業協同組合 2連孵化器2基/自然産卵水槽1基/親魚捕獲用定置網
■新潟県「奥只見湖」魚沼漁業協同組合 4連可搬型孵化器2基/孵化装置設置用浮桟橋
■宮城県「花山ダム」花山漁業協同組合 4連可搬型孵化器1基/自然採卵水槽2基/親魚捕獲用定置網2張/孵化装置設置用桟橋

兵庫県／加古川漁業協同組合

栃木県／川俣湖漁業協同組合

新潟県／魚沼漁業協同組合

北海道／西網走漁業協同組合

宮城県／花山漁業協同組合

Ⅱ

（公財）日本釣振興会　2021 年度事業報告

- 水中清掃事業
- 放流事業
- マナー看板設置事業
- 産卵床　魚道設置
- 防波堤開放　釣り人拡大

水中清掃事業 2021 年

2021 年も新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、当初計画した 34 回の水中清掃のうち 10 回はキャンセルとなり、実施出来た水中清掃は 24 回になりました。このうち LOVE BLUE 事業の受託事業としての水中清掃は 12 回でした。12 回の清掃にはボランティアダイバー 183 名、船・陸上手伝い 181 名に参加していただきました。2006 年からスタートした日釣振の水中清掃活動は、2021 年末で累計 577 回となりました。

2021年5月29日(土)　静岡県宇久須港　参加者　22名

協力：伊豆漁業協同組合、(一社) ブルーエコ協議会、西伊豆町

「タイヤ、ガスレンジ、塩ビパイプ、消火器、鍋等投棄ゴミが多く、釣具では誤って海中に落としたサオ、リール、サオ掛け、折り畳み椅子等が回収されました。

2021年6月5日(土)　山梨県西湖　参加者　27名

協力：西湖漁業協同組合、海をつくる会、富士河口湖町

「西湖は平成 20 年からワームの使用が禁止され 10 年以上たちますが、いまだに経年劣化したワームが多く見つかります。また食品等が入っていたビニール袋も多く回収されました。ワームもビニール袋も水中では分解されずにいつまでも残っています。」

2021年7月3日(土)　兵庫県鳴尾浜臨海海釣り広場　参加者　29名

協力：鳴尾浜臨海公園南地区管理事務所、兵庫県釣り団体協議会、西野渡船、NPO 法人海未来、
クラブドウダイビングセンター

「釣り公園のためサビキカゴ、ルアー、オモリ等釣具が多く回収されました。ただ重量的に重かったのは3年前の台風で流された金属フェンス。回収できなかったフェンスがまだ残っています。」

2021年7月10日(土)　和歌山県内之浦湾新庄地区　参加者 24名

協力：田辺市水産課、NPO 法人内之浦湾を良くする会、NPO 法人海未来、クラブドゥダイビングセンター

「釣具に混ざりバッテリー、換気扇、エアコン、はしご等投棄ゴミも見つかりました。」

2021年8月28日(土)　山梨県河口湖　参加者 32名

協力：河口湖漁業協同組合、海をつくる会、富士河口湖町

「当日は河口湖町環境課、町会議員の方も清掃に参加して頂きました。河口湖もワームが使用禁止になって 10 年以上たちますが、まだ古いワームが見つかります。」

2021年9月22日(水)　神奈川県長井町漁港　参加者 23名

協力：長井町漁業協同組合、横須賀市、海をつくる会、ミウラダイブセンター、拓栄丸、健海丸、一夫丸

「長井町漁港は釣り人のマナー問題で現在釣りはできませんが、過去には多くの釣り人が利用していたので、エギ、天秤、オモリ等多数回収されました。」

2021年10月10日(日)　山梨県山中湖　参加者 33名

協力：山中湖漁業協同組合、海をつくる会、山中湖町

「この日清掃した場所からは大量の飲料缶それにタイヤが回収されました。湖では桟橋につながれているタイヤが台風時にはずれることが多くどこの湖でもタイヤは多く回収されます。」

2021年10月30日(土)　静岡県焼津漁港ふぃしゅーな　参加者 59名

協力：焼津漁港管理事務所、(一社) ブルーエコ協議会、㈲はなまる、焼津水産高校

「当日は地元の焼津水産高校の生徒さん、いつもこの場所を利用している釣り人の皆さんにも協力をして頂きました。釣り場のためコマセカゴ、エギ、オモリ、天秤、タコテンヤ等が多く回収されました。」

2021年11月10日(水)　兵庫県平磯海釣り公園　参加者 24名

協力：神戸農政公社海浜事業部平磯海釣り公園、NPO 法人海未来、兵庫県釣り団体協議会、
クラブドゥダイビングセンター

「釣り公園のためサビキカゴ、エギ等が多く回収されましたが、投棄ゴミはありませんでした。」

2021年11月20日(土)　大阪府岡田浦漁港　参加者　34名

協力：岡田浦漁業協同組合、NPO 法人海未来、大阪釣具協同組合

「ペットボトル、飲料缶、瓶等のほか、パソコン、扇風機、バッテリー等投棄ゴミもあがりました。」

2021年11月28日(日)　静岡県熱海港海釣り施設　参加者　27名

協力：熱海港海釣り施設、伊豆小型船安全協会、熱海市観光建設部公園緑地課、石橋ダイビングセンター、マリンスパあたみ

「オモリ、コマセカゴ、エギ等釣具が多く見つかりましたが、使用後の花火が約 30㌔近く回収されました。花火大会の花火も、使用後海に沈みかなりのゴミとなっています。」

2021年12月11日(土)　兵庫県淡路交流の翼港　参加者　30名

協力：㈱夢舞台、淡路県民局洲本土木事務所、NPO 法人海未来、淡路岩屋漁業協同組合

「ペットボトル、飲料缶、サビキカゴ等のほかにタイヤ、タコツボ、鉄パイプ等も回収されました。」

回数	実施日	実施場所		参加人数		
		県名	場所名	ダイバー	陸上・船	合計
1	5月29日	静　岡　県	宇久須港	14	8	22
2	6月　5日	山　梨　県	西湖	17	10	27
3	7月　3日	兵　庫　県	鳴尾浜臨海海釣り広場	11	18	29
4	7月10日	和 歌 山 県	内之浦湾新庄地区	13	11	24
5	8月28日	山　梨　県	河口湖	21	11	32
6	9月22日	神 奈 川 県	長井町漁港	10	13	23
7	10月10日	山　梨　県	山中湖	20	13	33
8	10月30日	静　岡　県	焼津漁港ふぃしゅーな	18	41	59
9	11月10日	兵　庫　県	平磯海釣り公園	9	15	24
10	11月20日	大　阪　府	岡田浦漁港	12	22	34
11	11月28日	静　岡　県	熱海港海釣り施設	19	8	27
12	12月 11日	兵　庫　県	淡路交流の翼港	19	11	30
			合　計	183	181	364

1府5県12回実施364人参加

放流事業 2021 年

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業の資金を使用した放流は2021年で6年目となりました。
放流は多くの地元の小売店、釣り人に協力をしてもらっておりますので、LOVE BLUE 事業について理解を深めて頂くいい機会になっていると思います。

茨城那珂湊漁港 海水面 メバル

千葉大原漁港 海水面 ヒラメ

千葉大原漁港 海水面 イサキ

神奈川横須賀市海辺つり公園 海水面 メバル

神奈川横須賀市海辺つり公園 海水面 カサゴ

神奈川久里浜沖 海水面 カワハギ

愛知一色漁港 海水面 カサゴ

愛知一色漁港 海水面 キジハタ

愛知一色漁港 海水面 ヒラメ

三重尾鷲港 海水面 ヒラメ

三重鳥羽市国崎沖 海水面 ヒラメ

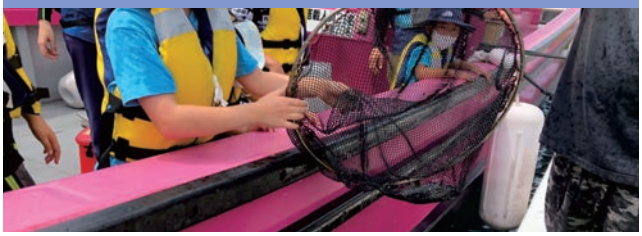
三重津市津ヨットハーバー付近 海水面 ヒラメ

京都舞鶴湾一帯 海水面 クロダイ

兵庫尼崎市・神戸市・播磨町 海水面 マコガレイ

和歌山御坊市濱ノ瀬・由良戸津井 海水面 クロダイ

新潟新潟東港 海水面 クロダイ

徳島牟岐大島 海水面 グレ


香川高松沖 海水面 ヒラメ

香川観音寺港 海水面 メバル

愛媛松山市三津浜 海水面 メバル

高知香南市吉川漁港・安芸郡安田漁港 海水面 ヒラメ

北海道石狩川水系忠別川(旭川) 内水面 ニジマス

北海道琴似発寒川 内水面 ヤマメ

北海道旭川市藤沼・砂川市北光公園他 内水面 ヘラブナ

栃木鬼怒川水系・那珂川北部水系・渡良瀬川水系 内水面 ヤマメ発眼卵

埼玉桶川城山公園 内水面 ギンブナ

埼玉北本総合公園沼 内水面 ギンブナ

埼玉入間川・霞川 内水面 ギンブナ

埼玉加須市油井ケ島 内水面 ヘラブナ

埼玉越谷市逆川・大吉調整池 内水面 ヘラブナ

埼玉桶川市川田谷沼 内水面 ヘラブナ

埼玉鴻巣市明秋・釜虎 内水面 ヘラブナ

千葉東庄町笹川港黒部川 内水面 ヘラブナ

東京水元公園池 内水面 ギンブナ

山梨笛吹川水系日川 内水面 アマゴ発眼卵

山梨千代田湖 内水面 ヘラブナ

山梨笛吹川水系日川 内水面 ヤマメ発眼卵

岐阜長良川中央管区内 内水面 アユ

岐阜揖斐川大橋下流 内水面 サツキマス

岐阜長良川支流片知川 内水面 アマゴ

岐阜根尾川能郷地区 内水面 アマゴ

岐阜板取川上流 内水面 アマゴ

三重大内山川 内水面 アマゴ

三重名張川 内水面 アマゴ

奈良室生ダム 内水面 ヘラブナ

滋賀県琵琶湖 内水面 ヘラブナ

和歌山有田川・紀伊丹生川 内水面 アマゴ親魚

4044kg 191万5,000粒，137,711尾放流実施

1．海水面

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
茨　城	那珂湊漁港	9月21日	メバル	3,000尾
千　葉	大原漁港	7月14日	ヒラメ	8,500尾
	大原漁港	9月28日	イサキ	4,400尾
神奈川	横須賀市海辺つり公園	6月24日	メバル	5,000尾
	横須賀市海辺つり公園	9月28日	カサゴ	5,000尾
	久里浜沖	10月27日	カワハギ	7,000尾
愛　知	一色漁港	11月18日	カサゴ	2,335尾
			キジハタ	850尾
			ヒラメ	2,700尾
三　重	尾鷲港	12月5日	ヒラメ	2,000尾
	鳥羽市国崎沖	2月15日	ヒラメ	2,129尾
	津市津ヨットハーバー付近	2月18日	ヒラメ	2,129尾
京　都	舞鶴湾一帯	8月26日	クロダイ	15,000尾
兵　庫	尼崎市・神戸市・播磨町	6月9日	マコガレイ	3,900尾
和歌山	御坊市濱ノ瀬・由良戸津井	8月10日	クロダイ	8,200尾
新　潟	新潟東港	9月2日	クロダイ	9,000尾
徳　島	牟岐大島	8月3日	グレ	20,000尾
香　川	高松沖	6月29日	ヒラメ	5,100尾
	観音寺港	9月14日	メバル	3,886尾
愛　媛	松山市三津浜	10月12日	メバル	6,932尾
高　知	香南市吉川漁港・安芸郡安田漁港	9月9日	ヒラメ	5,200尾

2．内水面

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
北海道	石狩川水系忠別川(旭川)	7月22日	ニジマス	150kg
	琴似発寒川	7月24日	ヤマメ	80kg
	旭川市藤沼・砂川市北光公園他	10/10・11	ヘラブナ	965kg
栃木	鬼怒川水系・那珂川北部水系・渡良瀬川水系	11/13・15・16	ヤマメ発眼卵	180万粒
埼玉	桶川城山公園	9月30日	ギンブナ	30kg
	北本総合公園沼	9月30日	ギンブナ	75kg
	入間川・霞川	9月30日	ギンブナ	120kg
	加須市油井ケ島	10月22日	ヘラブナ	116kg
	越谷市逆川・大吉調整池	10月22日	ヘラブナ	175kg
	桶川市川田谷沼	10月24日	ヘラブナ	255kg
	鴻巣市明秋・釜虎	10月24日	ヘラブナ	350kg
千葉	東庄町笹川港黒部川	11月13日	ヘラブナ	161kg
東京	水元公園池	9月30日	ギンブナ	75kg
山梨	笛吹川水系日川	11月7日	アマゴ発眼卵	65,000粒
	千代田湖	11月14日	ヘラブナ	292kg
	笛吹川水系日川	12月19日	ヤマメ発眼卵	50,000粒
岐阜	長良川中央管区内	5月17日	アユ	5,000尾
	揖斐川大橋下流	11月14日	サツキマス	650尾
	長良川支流片知川	2月23日	アマゴ	600尾
	根尾川能郷地区	3月7日	アマゴ	600尾
	板取川上流	3月23日	アマゴ	600尾
三重	大内山川	7月21日	アマゴ	50kg
	名張川	3月29日	アマゴ	8,000尾
奈良	室生ダム	12月5日	ヘラブナ	250kg
滋賀県	琵琶湖	11月16日	ヘラブナ	900kg
和歌山	有田川・紀伊丹生川	10月4日	アマゴ親魚	100尾

マナー看板設置事業 2021 年

1 都 7 県に 35 枚設置

2021 年も各地の釣り場でマナーの向上を呼び掛ける看板の設置を行いました。

	県　名	場　所	設置枚数
1	神奈川県	米神漁港	1
2	神奈川県	小田原漁港	1
3	和歌山県	田之浦漁港	5
4	高 知 県	室戸市内漁港	8
5	東 京 都	東京都建設局　看板イラストのみ提供	—
6	滋 賀 県	琵琶湖大津港	6
7	山 口 県	周防大島	2
8	神奈川県	大津港	1
9	宮 城 県	桃ノ浦漁港	4
10	福 岡 県	糸島漁港	7
		合　計	35枚

神奈川県 米神漁港

神奈川県 小田原漁港

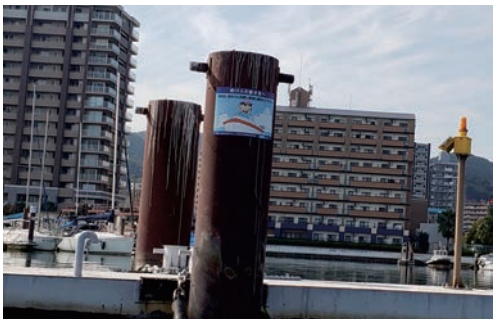
和歌山県 田之浦漁港

高知県 室戸市内漁港

東京都 東京都建設局

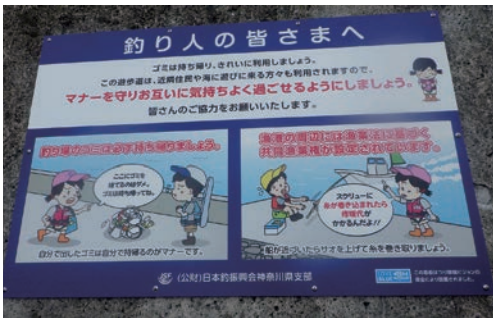
看板イラストのみ提供

滋賀県 琵琶湖大津港



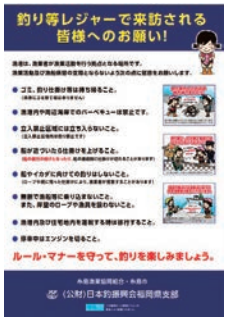
山口県 周防大島

神奈川県 大津港



宮城県 桃ノ浦漁港

福岡県 糸島漁港



産卵床・魚道設置 2021 年

海水温の上昇やアイゴの食害等いろいろな原因でアオリイカが散乱する海藻が減っています。アオリイカ釣りは人気のある釣りですので、少しでもアオリイカを増やすために平成 25 年からボランティアダイバーの協力を得て、アオリイカの産卵床の設置を行っています。

コイはコイヘルペスのため放流ができない状態が続いています。そこで自然産卵を促してコイを増やすために平成 29 年よりコイの産卵床の設置を始めました。

魚道については日大の安田教授の協力を得て、アユが遡上しやすくなる簡易魚道の設置を始めました。わずかな段差でもアユが遡上できないところに簡易魚道を設置することで、多数のアユの遡上が確認されています。

アオリイカの産卵床設置

和歌山県串本沖

静岡県安良里漁港

神奈川県岩漁港沖

静岡県八幡野漁港沖

オイカワ産卵床設置

埼玉県入間市霞川

アユ産卵床設置

岡山県高梁川

コイ産卵床設置

埼玉県入間川

ヤマメ・ニジマス魚道・淵

群馬県神流川

アユ魚道・淵

京都府鴨川

	県　名	設置場所	実施日	対　象
産　卵　床	和歌山県	串本沖	2021年　4月　7日	アオリイカ
	静　岡　県	安良里漁港	2021年　5月　8日	アオリイカ
	神奈川県	岩漁港沖	2021年　5月19日	アオリイカ
	静　岡　県	八幡野漁港沖	2021年　5月23日	アオリイカ
	埼　玉　県	入間市霞川	2021年　6月22日	オイカワ
	岡　山　県	高梁川	2021年10月　6日	アユ
	埼　玉　県	入間川	2022年　3月23日	コイ
魚　道　・　淵	群　馬　県	神流川	2021年12月　6日	ヤマメ・ニジマス
	京　都　府	鴨川	2022年　3月15日	アユ

合計 9 ヶ所

防波堤開放・釣り人拡大 2021 年

北海道苫小牧港・東港（一本防波堤）が正式開放になりました。

昨年、試験開放を行い防波堤開放に向けて話し合いを行ってきた、北海道苫小牧港・東港の通称「一本防波堤」が、（一社）苫小牧港釣り文化振興協会の管理のもと、4 月 23 日（土）に正式に開放されました。

今回開放された場所は、全長 1030 mのうち立入禁止となっていた先端から約 500 mの部分で、北海道初の有料釣り防波堤となります。開放日は、土日祝祭日で、午前 6 時から午後 3 時まで。堤防で釣りができる最大利用人数は 100 名。入場料は大人 1,000 円、中高生 500 円、小学生 300 円で未就学児は入場不可。駐車場料金は 500 円です。

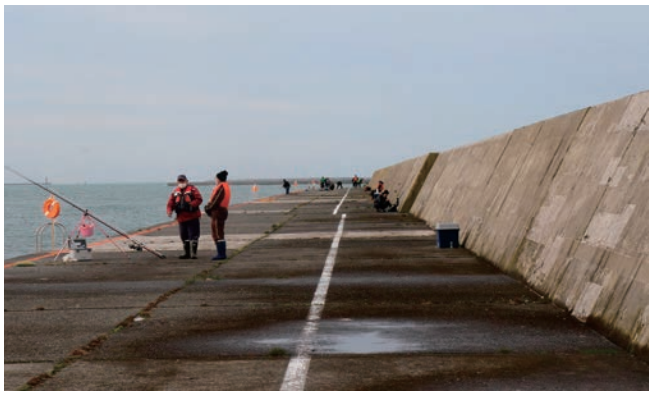
オープン当日の天気は晴れで、釣り場オープンの午前 6 時前から釣り人が集まりました。オープンに際し、日釣振水際線有効活用委員会　岡田信義委員長、管理者である（一社）苫小牧港釣り文化振興協会 明村享代表理事よりご挨拶ののち、釣り場へ移動いただきました。ただ、この日は、朝から強風が吹き、気温も 8℃とかなり寒かったため、来場された方は少数でしたが、GW 等は沢山の釣り人でにぎわいました。

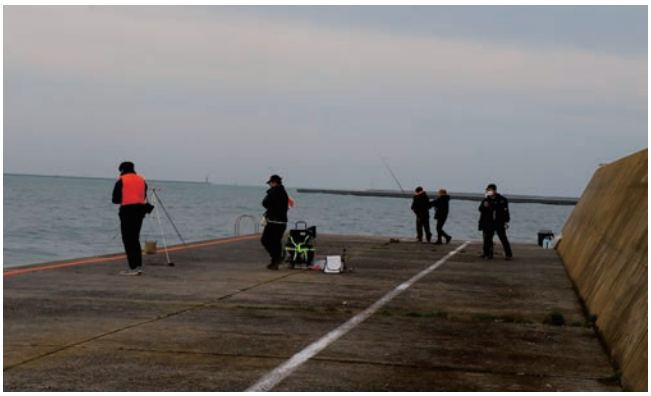
苫小牧港では、クロガシラ、イシモチガレイ、サクラマス、エゾメバル、サバ、アイナメ、チカなど様々な魚種が釣れますが、今回、風が強く釣りづらい中で一番釣れたのはクロガシラで、これからシーズンに入るので釣果が期待されます。

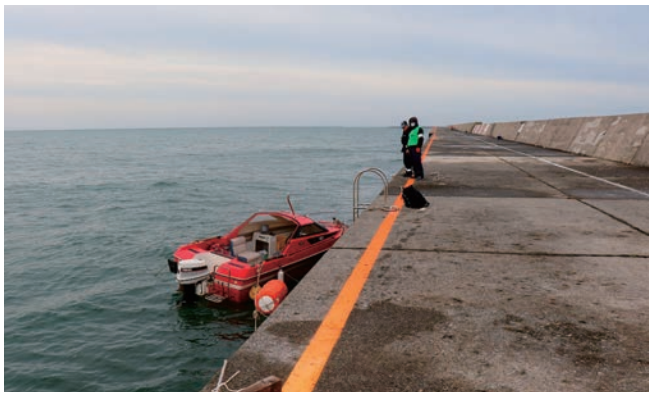
左から 5 番目　（一社）苫小牧釣り文化振興会 明村享 代表理事、
左から 4 番目　（公財）日本釣振興会 北海道地区支部 牧野良彦 副支部長

（公財）日本釣振興会 水際線有効活用委員会 岡田信義 委員長

（一社）苫小牧釣り文化振興会 明村享 代表理事







未来へ残した美しい地球の

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業

ア

ING co.,
(株)アイビック
(有)アイビーライン
アキレス(株)
(有)アクティブ
アサヒレジャー(株)
アチック
(株)ア・ネットコトブキヤ
(株)アピア
(株)アムズデザイン
(有)アリゲーター技研
(株)アングラーズ
(有)アングル
(株)ARTISTIC&CO.BEAUSPORTS
(株)イシグロ
(有)イシナダ釣工業
(株)issei
INFINITE SEEDS MAKERS(株)
ヴァンフック(株)
(株)ウィング
植田漁具(株)
(株)ウォーターハウス
(有)ウォーターランド
(株)魚矢
(株)宇崎日新
ウチダトレーディング・モリックスジャパン
WooDream
(株)エイチ・エー・エル
(株)エイテック
(株)ＥＳＴＡＴＥ
(株)NTマイクロシステムズ
ＮＰＯ法人ジャパンゲームフィッシュ協会
(株)エバーグリーンインターナショナル
エフ・ケイ
(株)M-ONE
ＯＳＧＳ
(有)オー・エス・ピー
オーシャンフリークス(株)
(株)オーナーばり
(株)オーパデザイン
(株)オオモリ
(株)OKUMAN
(有)オジーズ
(株)小野由
(株)オフィスアクセル
(有)オフィス・ユーカリ
(株)オリムピック
(株)オンスタックル

カ

(株)鶴祥
景山産業(株)
(株)カズマーク
(株)カツイチ
(有)加藤精工
カハラジャパン(株)
(有)カビィ
(株)がまかつ
(有)カラーズインターナショナル
(株)川せみ針
(有)ガンクラフト
(有)関門工業
(株)キサカ
(株)キザクラ
(株)ＫＩＬＬＥＲ　ＨＥＡＴ
金鯱
(株)キーストン
クオリティライフ
(株)クリーブラッツ
(株)Grayhound
クレハ合繊(株)
(株)クロノコーポレーション
グローブライド(株)
(株)KIOB
(株)ケイテック
(株)ゲインコーポレーション
(株)ケーテー関東
ゲーリーインターナショナル(株)
ケンインターナショナル(株)
(株)剛樹
(株)ゴーセン
(一社)KONI
(株)コヒナタ

サ

(有)財津釣具
(有)サウスウィンド
栄通商(株)
櫻井釣漁具(株)
(株)ささめ針
(株)ザップ
(有)サニー商事
サポートエンジニアリング　フラー
サンヨーナイロン(株)
(株)サンライン
(株)３４
THE OWL GENE LURE'S
(株)ジークラック
(株)シーフロアコントロール
(株)シマノ
(株)清水
(株)下田漁具
(株)ジャクソン
(株)ジャッカル
(株)ジャンプライズ
(株)上州屋
skillful
(株)スズミエンタープライズ
スタジオディーピーアイ(株)
スターンキーパー(株)
スティールハント
(株)スナガ
(株)スーパー・ビー
(株)スポーツライフプラネッツ
(株)スミス
征興産業(株)
(株)清光商店
(株)ゼニス
(株)双進

タ

第一精工(株)
ダイトウブク(株)
大同(株)
大同石油(株)
太陽産業(株)
(株)ダイレイ
タカ産業(株)
高階救命器具(株)
(株)タカタ
(株)タカミヤ
(株)タックルハウス
(株)達人
谷山商事(株)
(株)タネ・マキ
(株)ダミキジャパン
(株)ダン

ために 今 私たちは行動します

260社・団体参加（2022年3月31日現在 50音順）

痴虫
中央漁具(株)
(株)津田商会
(株)ツネミ
(株)釣研
つりー(株)
(株)DRT
(株)ティムコ
T.H.タックル
D-CLAW
(株)DSTYLE
(株)ディーパース・ファクトリー
(株)テクノス
(株)デプス
(株)デュオ
(株)天龍
(株)トアルソン
(株)トゥームストーン
東邦産業(株)
東レ・モノフィラメント(株)
(有)トオヤ
(株)土肥富
(株)TRYALL
DRANCKRAZY(株)
DreemUp

ナ

(株)内外出版社
(株)ナカジマ
ニッコー化成(株)
(株)NOIKE

ハ

(株)ハイテックボート
ハイドアップ(有)
(株)バスディジャパン
バスデイ(株)
(株)林釣漁具製作所
(株)ハヤブサ
はり秀(株)
(株)ハリミツ
(有)HMKL
HAND MADE LURE HIRO
(株)パームス
(株)バリバス
(株)ビーエムオージャパン
ビジュアライズイメージ(株)
ピュア・フィッシング・ジャパン(株)
兵庫通商(株)
(有)ヒロカコーポレーション
フィッシュ・アンド・ハート(株)
Fishman(株)アレア
FIELD　BACK
プエブロ(株)
(株)フォレスト
FOLLOW
富士工業(株)
冨士灯器(株)
(株)フジノライン
(株)フジワラ
(株)藤原辰次商店
(株)ブリーデン
フルシロプロダクトデザイン
ブルーブルー(株)
(株)ブレイズアイ
プロズワン
(株)プロックス
ベイトブレス
BeveL
(株)ベルモント
(株)北摂マリン
Bottomup(株)
BOREAS
(株)ボンバダアグア

マ

(株)マガジン・マガジン
マルキユー(株)
丸米商事(株)
(株)マルシン漁具
MARUTE
(株)まるふじ
mibro
(株)ミヤマエ
(株)ムカイフィッシング
(株)名光通信社
明邦化学工業(株)
(有)メガテック
メガバス(株)
メジャークラフト(株)
(株)目探
moriken　speed　bite
(株)もりげん

ヤ

(株)ヤマイ
山田電器工業(株)
山豊テグス(株)
山本光学(株)
(株)ヤマリア
(株)ヤリエ
ユニチカ(株)
(株)ヨコハマ
(有)よつあみ

ラ

(株)ラインシステム
(有)ラガチャイナ
落花生
(株)ラッキークラフト
Rattytwister
ラパラ・ジャパン(株)
REALS
(株)リガーレ
(株)リコーサーバンス
(株)リチャーズ
リップラップ
リトルジャック(株)
(有)リトルプレゼンツ
(株)リプレイ
リミット
lure angle HAMA
ルアーショップ　アンドウ
(株)ルミカ
+Rooms'
RAID　JAPAN(株)
(株)レイン
LEGAME(レガーメ)
レジットデザイン(株)
LESS is MORE
(有)ロデオクラフト

ワ

WILDFINS
(株)脇漁具製作所
(株)和田製作所
(株)ワトスファクトリー
(株)ワールドスポーツ

2021 年度事業収支報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予算額	決算額
【収入の部】 （1）シール売上収入		
環境・美化シール販売収入	1,000,000	2,668,380
商標使用料収入	260,000,000	320,096,578
シール売上収入等計	261,000,000	322,764,958
（2）環境保全協力金収入（会計間振替）		
釣竿を除く商品× 2/10000	16,700,000	19,540,245
釣竿× 2/10000	4,285,000	5,197,212
（2）環境協力金収入	500,000	0
環境保全協力金収入等計	21,485,000	24,737,457
収入合計	282,485,000	347,502,415
【支出の部】		
Ⅰ　事業活動費支出		
（1）水中清掃事業費支出		
水中清掃業務費支出（プロダイバー）	117,000,000	114,860,669
水中清掃業務委託費支出（日釣振）	5,000,000	4,228,776
水中清掃事業費支出計	122,000,000	119,089,445
（2）陸上清掃事業費支出		
陸上清掃事業費支出（LOVE BLUE 助成）	15,000,000	15,000,000
陸上清掃事業費支出計	15,000,000	15,000,000
（3）放流事業費支出		
放流事業費支出	65,000,000	61,920,571
放流業務委託費支出（日釣振）	17,000,000	15,341,268
放流事業費支出計	82,000,000	77,261,839
（4）釣り場拡大事業費支出		
釣り場拡大事業費支出	17,000,000	7,662,795
釣り場拡大業務委託費支出（日釣振）	18,000,000	20,429,956
釣り場拡大事業費支出計	35,000,000	28,092,751
（5）予備費支出		
予備費支出計	6,000,000	0
事業費支出計	260,000,000	239,444,035
事業費比率	92.0%	68.9%

科　　目	予算額	決算額
(6) 運営経費支出		
LOVE BLUE 人件費支出	24,270,698	23,062,616
環境・美化シール印刷費支出	350,000	352,000
旅費交通費支出	7,000,000	5,026,462
通信運搬費支出	1,200,000	495,471
印刷製本資料作成費支出	4,000,000	3,173,835
宣伝費支出	30,000,000	36,860,537
租税公課支出	3,000,000	5,626,545
会議費支出	500,000	30,900
支払手数料支出	100,000	29,040
振込手数料支出	50,000	88,022
諸謝金支出	200,000	207,594
消耗品支出	300,000	4,008
雑費支出	150,000	5,500
法定福利費支出	3,393,694	3,104,839
運営経費支出計	74,514,392	78,067,369
事業活動費支出合計	334,514,392	317,511,404
事業費比率	118.4%	91.4%
事業活動収支差額	-52,029,392	29,991,011
Ⅱ　振替経費支出		
振替人件費支出	1,872,671	1,615,263
その他一般管理費支出	2,260,600	1,846,030
F 会館維持管理費支出	149,720	140,229
法人税等	0	0
振替経費支出計	4,282,991	3,601,522
【投資活動収支の部】 (1) 投資活動収入		
投資活動収入計	0	0
(2) 投資活動支出		
投資活動支出計	851,662	842262
投資活動収支差額	-851,662	-842262
当期収支差額	-57,164,045	25,547,227
前期繰越収支差額	195,378,573	195,378,573
次期繰越収支差額	138,214,528	220,925,800

アマゾン川でのピラニア釣りからLOVE BLUE事業を考える

京都大学名誉教授
松下和夫

今から20年以上前、アマゾン川でピラニア釣りをする機会がありました。アマゾンの熱帯林の視察と調査に行った時のことです。当時からアマゾンの熱帯林保全は世界的課題となっていたのです。一口にアマゾンの熱帯林といってもヨーロッパのほとんどの国がすっぽりと入ってしまう広さがあります。

ピラニア釣りは当時からアマゾン観光の一環になっていたようです。一方で釣りは人が環境に直接触れて、環境や命の大切さを知ることができる貴重な機会でもあります。釣り界全体が取り組むLOVE BLUE事業は、釣りを通じて、海や川などの豊かな自然環境から恩恵を受ける中で、釣りに関わる人々とともに、水辺の環境保全活動などを社会貢献事業として取り組むものです。アマゾン川での釣りは、広大な熱帯林とその保全の意義を考える良い機会にもなりました。

熱帯雨林の保全活動などを調査した翌日、私たちはアマゾン川にボートで出かけ、森林を川から観察しました。アマゾン川は川というよりは海のようです。川の水はやや茶色で透明度はほぼゼロです。ここでは船やボートが主な交通手段で、川の中にガソリンスタンドが浮かんでいます。アマゾンの森林で特徴的なのは、雨季に水位が上がった時に一定期間浸水する森林があることです。これを浸水林と呼びます。

浸水林の中を小さなボートでゆったりと航行している途中、ガイド役の現地の人が、ボートの中でまな板を取り出し、牛肉の塊を短冊状に細かく切り始めました。お昼前だったので、昼食は牛肉かな、と思ったところ、そうではなくピラニア釣りが始まったのです。シンプルな棒のような竿が私たちに配られ、それに小さなさいころ型の牛肉をつけて、川の中に入れます。

川は茶色に濁りほとんど水の中が見えません。ガイドの指示に従って竿で水面をパチャパチャとたたきます。そうすると魚が寄ってくるのです。どう猛な肉食魚が相手でやや緊張しましたが、15㎝から30㎝位のものが何匹か連れました。

昼食は自分たちで釣ったピラニアを水上レストランに持ち込み、刺身とから揚げにして試食しました。ピラニアは太い骨と鋭い歯を持ち怖い顔をしていましたが、肉はやや赤みを帯びた白身で、鯛かイサキに似た淡白な味でした。

アマゾンの大自然の中では、その環境を生かした釣りが行われています。釣りを通じて自然の素晴らしさを満喫し、ひいてはそれが地域の発展と熱帯林の保全につながることも望まれます。今後LOVE BLUE事業が目指す環境と共生した社会の理念が世界に広がることを期待したいものです。

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報（水中クリーンアップ活動等）を配信しています。
公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。
ぜひご覧ください。

LOVE BLUE 地球の未来を
つり環境ビジョン

FACEBOOK LOVEBLUE 検索
LOVE BLUE FACEBOOK

LOVEBLUE 検索
LOVE BLUE HP
http://www.loveblue.jp/

編集協力：公益財団法人日本釣振興会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館3階
TEL：03-3555-3232 FAX：03-5542-2941
編集・発行：一般社団法人日本釣用品工業会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5階
TEL：03-3555-0101 FAX：03-5542-2929 E-mail：info-loveblue@jaftma.or.jp

UD FONT by MORISAWA
PRINTED WITH SOY INK